

活動レポート

技術交流研究会

第107回 研究会報告

第107回技術交流研究会が、平成19年3月1日に株式会社ドーコン会議室で開催されました。

当日は、技術交流研究会のメンバーの中から川村政良技術士（建設部門・総合技術監理部門）と佐々木春代技術士（上下水道部門・総合技術監理部門）に話題提供していただき、お二人の暗黙知を聞き出しました。

◆話題提供【その1】

『水との関わり ***水の世紀を生きる***』

佐々木春代 氏

（上下水道・総合技術監理部門）

21世紀は水の世紀といわれています。

2003年国連ミレニアムサミットで、世界中で11億人が清潔な水に常時アクセス出来ず、24億の人が適切な衛生処理や下水処理を利用できないということが明らかになりました。また、2025年までには約30億の人が水不足になることから、2015年までに清潔な水にアクセスできない人を半減させるという目標を掲げました。

水と生物との関わりは、今から約35億年前に始まり、人類が誕生してから既に20万年が経っています。このような長い時間をかけて水と生物はバランスのとれた関わりをしてきました。

しかし、今や人類は地球上の全生物の1/4の重量を占めるようになり、産業革命以来の近代における急速な活動によって許容以上の負荷を地球にかけています。

地球温暖化をはじめとする地球環境問題は、すべての技術分野において緊急の課題ですが、我が国をはじめ先進国では健康志向の観点での様々な消費活動が行われています。特に水は生命に直接関わるものであり、確かな知識と技術が求められます。

地球上で人類が持続可能であるためには、水の質と量のバランスを正しく認識して使い分けをしてゆく技術が求められているのではないのでしょうか。



佐々木技術士の発表



研究会の様子

◆話題提供【その2】

『Field Works Engineer の使命

— Best Only One Project を目指して —』

川村 政良 氏

（建設・総合技術監理部門）

発表者自身が携わった実例について「施工技術者の使命」と題して、以下の5工事を紹介する。

No	工事名	施工時期	施工場所	命題
①	日本埠頭海運(株)室蘭ダイヤモンド埠頭工事	昭和33年3月～34年10月	室蘭港内御崎町地先	旧“北炭”の石炭積み出し専用岸壁、1部雑貨岸壁として新設
②	新日本製鐵(株)室蘭18バース岸壁工事	昭和34年12月～36年8月	室蘭製鉄所構内	高度成長期を迎え、大型鉦石専用船の接岸可能を目指す
③	函館ドック(株)函館第一乾ドック拡張工事	昭和41年12月～42年8月	函館ドック構内	高度成長期を迎え、明治37年完成の1万tドックを2万5千tドックに改造する
④	日本セメント(株)上磯海岸出荷棧橋工事	昭和44年3月～44年12月	上磯海岸日本セメント工場地先	函館港までの陸送をやめ、工場からの直船積みを目指す
⑤	出光興産(株)苫小牧石油シーバース工事	昭和47年4月～48年10月	苫小牧出光興産製油所沖合3 km 地点	入港不能な超大型石油タンカーからの直原油受け入れを目指す

◆平成19年度の活動予定

平成19年度の技術交流研究会の活動予定は以下のとおりです。

どなたでも参加できますので、一度、研究会を覗きに来て下さい。

日時	内容
平成19年 06月07日(木) 15:00～17:30	第108回 研究会及び懇親会 ・会員相互の情報交換 ・講演会 『未定』 ・懇親会
平成19年 09月06日(木) 15:00～17:30	第109回 研究会及情報交換会 ・会員相互の情報交換 ・会員による話題提供 『暗黙知の発掘』 ・情報交換会
平成19年 12月06日(木) 15:00～17:30	第110回 研究会及び懇親会 ・会員相互の情報交換 ・講演会 『(仮称)山東省の大学で』 元北海道立札幌南高教諭 山栄 昭二氏 ・懇親会
平成20年 03月06日(木) 15:00～17:30	第111回 研究会及情報交換会 ・会員相互の情報交換 ・会員による話題提供 『暗黙知の発掘』 ・情報交換会
場所：株式会社ドーコン会議室(3F) 会費：1,000円(70歳以上は無料です)	



川村技術士の発表（前に座っています）



研究会終了後の情報交換会の様子